



東山ニセコビレッジ・リッツ・カールトン・リザーブ

会社説明

【伝説的ホスピタリティの象徴：ザ・リッツ・カールトン】ザ・リッツ・カールトンは、ラグジュアリーホスピタリティの代名詞として世界中に知られるホテルブランドです。その歴史は、近代ホテルの父とされるセザール・リッツが1898年にパリで「オテル・リッツ」を、1899年にロンドンで「カールトン・ホテル」を開業したことに始まります。彼が確立した「最高級の設備と至高のパーソナルサービス」という哲学は、1世紀以上の時を経た今もブランドの核として息づいています。

現在の「ザ・リッツ・カールトン・ホテル・カンパニー」としての歩みは、1983年にアトランタの投資家ウィリアム・B・ジョンソンがポストンのリッツ・カールトンを買収し、その名称を使用する権利を得たことから始まりました。1998年にはマリオット・インターナショナルの傘下に入り、世界的な規模での拡大を遂げました。

【独自の企業文化と「ゴールドスタンダード」】ザ・リッツ・カールトンの最大の強みは、建物や設備の豪華さ以上に、その独自の企業文化にあります。同社の哲学を凝縮した「ゴールドスタンダード」には、クレド（信条）、モットー、サービスの3ステップなどが含まれます。特に有名なモットー「We are Ladies and Gentlemen serving Ladies and Gentlemen（紳士淑女をおもてなしする私たちもまた紳士淑女である）」は、従業員を単なる労働者ではなく、お客様と対等なプロフェッショナルとして定義しています。

また、全従業員に与えられている「エンパワメント（権限委譲）」は特筆すべき仕組みです。従業員は、お客様に最高の体験を提供するためであれば、上司の許可を得ることなく、一日につき最大2,000ドルまでの決裁権を行使することができます。この仕組みにより、マニュアルを超えた「感動の瞬間（ワオ・ストーリー）」が日々世界中で生まれています。

【日本における展開】日本においては、1997年のザ・リッツ・カールトン大阪の開業を皮切りに、東京、沖縄、京都、日光、ニセコ、福岡など、主要都市やリゾート地で展開しています。各地域の文化や歴史を尊重した空間デザインと、リッツ・カールトン伝統のサービスを融合させることで、国内でも圧倒的なブランドステータスを確立しています。

求人広告の観点では、単に「ホテルスタッフ」を募集するのではなく、高い志を持ち、自ら考え行動する「紳士淑女」を求める姿勢が、ブランドイメージの維持と優秀な人材の獲得に繋がっています。

会社概要

本社所在地

日本

事業内容

高級ホテルおよびリゾートの運営・管理、ならびにレジデンス（分譲住宅）の管理。

代表取締役

アンソニー・カプアーノ（Anthony Capuano / 親会社マリオット・インターナショナルCEO）

設立年

1983年（現在の法人として設立。ブランドの起源は1898年のパリに遡る）

資本金

非公開（マリオット・インターナショナルの完全子会社）

従業員数

1,000人以上

URL

<https://www.ritzcarlton.com/ja/>

オフィス情報

メインオフィス

〒0481522

北海道 虻田郡ニセコ町 字曾我919-28